御池岳中心部（おいけ）

ボタンブチは、御池岳南東縁の急崖上そびえる一大岩塊で、直下を流れるゴロ谷・アザミ谷との標高差550メートルもあって、吹き上げる風は涼しく、左は大倉岳と南尾根（丁字尾根）を見下ろし、前面は天狗堂～仏供さん山～滝谷山である。

御池岳は鈴鹿山脈の最高峰で、石灰岩の山である。広大な台地には、かん木や笹が生い茂り、数年前発見された池も多く、草花を見に訪れる人も4月～5月は多い。

風池から丸池、西のボタンブチ・御花池・元池ルートは、ブッシュを避けて、南側の歩きやすいところを見定めて歩けば、短時間で一周できる。

H6.11.23 山田さんと。

西ノボタンブチ
断崖絶壁で展望広大谷深く見晴し抜群

御花池
おはな
昔の山村での恋物語の伝説の池

幸助ノ池
ボタンブチ
天狗ノ鼻
断崖絶壁
風池
丸山
南峰
御池岳
山西池
上池
丸池
奥ノ平
アン部
急斜面
ヨゴルミ谷分岐
御池岳分岐
幻ノ池
ヒキガエルノ池
カマアト
天ガ平分岐
天ガ平
昔の炭焼人が呼称。
カタクリ山
山宿娘峠
仮称
カタクリの花は5月5日ごろ満開
尾根
至白瀬峠 45分
至白瀬峠 35分
ウリハダカエデノ池
サワグルミ池
中池
平池
南池
草原池
日本庭園
焼跡
鈴北近道
真ん中池
遭難碑
元池
池の平
北池
鈴北岳
タテ谷分岐
至タテ谷 70分
至鞍掛峠 95分
至鈴ガ岳 35分 すずき峠
一般縦走ロース
笹分け、ブッシュ無し
笹分け有り
タテ谷小笹分け有り
タテ谷
至タテ谷から ヨゴルミ谷登山口 306号線へ70分 527M
至鞍掛峠から 791M 鞍掛峠トンネル東登り口 306号線へ60分 620M
低部は笹分け
尾根
県境
真ん中の谷
そうの谷
キラウスギオ谷
バイケイソウ
ミヤマシキミ
ミツバツツジ
ヒメシャラ
ミネカエデ
ツガ
ブナ
ヒノキ
ヒメシャラ
ミツバツツジ
ミネカエデ
ツガ
ブナ
ヒノキ

注意
1. 御池巡りは笹やかん木が密生し、足場も悪く、迷いやすいので、充分な仕度と、時間に余裕をもって行く。
2. 雨天は中止する。
3. 山慣れた人と行く。
4. 日の長いまだ枝うない4月～5月に行く。
5. 救急用品持参。
6. 果物持参。
7. ヒル・ダニ・ヘビに注意。（足首にサロンパスをはる。）（または長靴がよい。）
8. ――――― 一般コース
   ····· ベテラン探険ルート（よく知るリーダーと同行のこと。）

※ 平成15年頃より、イブキザサの退化が始まり、昔の猛烈なヤブ漕ぎも減少、県境尾根が鈴北岳コースも楽に歩けるようになった。

◎池については、山田明男氏、近藤郁夫氏の探険図による。

0 100 200 300 400 500M

S 1/7000

1997 H9.12.1 奥村光信 72才

最近では（1号池岳～鈴北岳）
H5.2.20 ○H6.11.23 H9.3.12
H6.3.6 H7.3.19 ○H9.5.5
H6.3.20 H7.5.7 ○H9.10.10
H6.5.8 H8.2.25 H10.3.1
○H6.5.22 ○H8.5.3 H10.4.26
○H6.10.10 ○H8.10.10 ○H16.6.5
○H18.4.16
○印は山田、近藤グループに同行

コグルミ谷から御池岳登山口（下山は306号線へ40分）

○ 鈴北岳より約10分、ロノ平南斜面にはフクジュソウの群落あり。H18.4.16

1969.5.4 ~ 3.21 ~ 1997.H10.3.1まで、御池岳（丸山）に60回、鈴北岳33回登頂。